



校章の由来

県立三中を意味した三つの剣を組み合わせ、初代大屋校長の考えで剛健・真剣・勤儉の三けん、更に智・仁・勇の三徳を兼ねた象徴として用いられて来た

# 厚高同窓会報

<第55号> 2021年(令和3年) 9月1日(水) 発行  
<http://www.atsukou-dousou.org>

旧制中学卒業者 3,915名  
新制高校卒業者 28,190名  
合 計 32,105名

発行  
神奈川県立厚木高等学校同窓会  
編集  
厚木高等学校同窓会広報委員会  
TEL 046 (221) 4078  
FAX 046 (222) 8243



## 57年ぶり、母校OBが聖火ランナーに (詳細3面)



公道での聖火リレー中止に伴う代替イベントとして実施された点火セレモニー(6月29日、相模原市橋本公園)で、聖火ランナーの野口博史さん(高29回・左)と阿部洋さん(高22回・右)が「トーチキス」で聖火をつないだ。



### コロナ後に向け、 新たな決意

同窓会会長 熊坂 隆光 (高19回)

昨年初めから続いている新型コロナウイルスとの闘いは、ワクチンの普及や医療・行政関係者の奮闘する中、多くの国民のコロナに負けないという強い思いと行動にも関わらず、7月以降変異株による感染者数が急拡大しております。決して予断を許さない状況ではありますが、来年は本校創立120周年、私たちの同窓会活動も、少しずつ本来の姿を取り戻せるよう、準備を始めていきたいと思っております。

この間、同窓会会員の皆様は大変なご苦労を経験されたと思います。しかし、なんといっても余波を被ったのは現役の厚木高校生たちです。昨年度は2か月にも及ぶ休校措置、部活や対外試合の中止など未曾有の経験を強いられました。その一部はまだ続いています。

しかし、私たちの後輩たちはこうした試練に負けず、元気に戸陵生活を送っております。3月3日、卒業式に出席、茅賞の発表と贈賞を行ってまいりました。355人の卒業生たちは異例すくめの最終学年を余儀なくされたにもかかわらず、元気に果立っていきました。聞けば、進路状況もコロナを吹き飛ばすような、例年になく好結果だったとか。卒業生の新生活が、苦しい経験を糧にさらに充実したものとなることを祈っております。

さらに、新人生を加えた現役生にも大きなエールを送ります。現役厚高生も同窓会会員も、戸陵に結ばれた者全員がコロナ後の新しい日常に向け前進していけることを信じております。

去る5月17日、尊敬する小島菊代先生(中36回)がお亡くなりになりました。97歳。厚木高校を愛し、厚木高校同窓会を愛し、常にあらゆる活動の先頭に立って指導をしていただきました。私は厚高時代教えを受けただけでなく、3年生の夏、何人かの同級生とともに、愛川町の先生の御生家に居候し、受験勉強をさせていただきました。先生のお母さまに賄いをさせていただくという大変貴重な、一生忘れられないひと夏でした。感謝してもしきれません。小島先生のご冥福を心からお祈りいたします。

本部活動報告

令和3年度通常総会

コロナ禍で書面による総会に!!



コロナ対策として出席者を支部長と理事のみに限定して開かれた昨年の通常総会(令和2年7月18日)

令和3年度の通常総会は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症により、書面による開催となりました。6月下旬に、支部会長、理事の皆様は議案書をお送りし、議決書を返送していただきました。結果は賛成多数により、5つの議案すべてが可決されました。
詳しい内容につきましては、厚木高校同窓会HPに掲載されておりますので、ご覧いただけますと幸いです。
昨年度の通常総会も、講演会、懇親会がありませんでしたが、今年度も皆様と一堂に会せず残念な形となりました。令和4年度は、皆様とお会いできることを祈念しております。

臨時役員会開催

6月12日(土)午前、レンブラントホテルにて、令和3年度通常総会に関して、臨時の役員会を開催しました。熊坂会長はじめ9名の参加で討議しました。

新型コロナウイルス感染症のため、役員会も少人数で開催しましたが、通常総会は、一堂に会するのは不適切と考え、書面による総会開催となりました。議案書や議決の結果等は、同

訃報

小島菊代先生(中36回) 惜しまれつつも黄泉の客とは



父母いませり 先生は我が師、我が父、なにわが友

合掌

(愛川戸陵会 八木一郎(高14回))

小島先生とオリンピック

厚木高校を想えば小島菊代先生あり、小島菊代先生を語るに厚木高校を抜きにして語り得ず。常に全身全霊を母校愛に捧げ、愛川戸陵会の社中にとつて、師であり、父であり、初代会長である先生が去る5月17日、享年96歳の天寿を全うされ永眠されました。ここに謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。
又一つ、厚高同窓のシンボルがなくなり、寂しい限りです。あの世から、母校の益々の発展を支えてください。
『山あり 花咲きて

上の選手としてではなく、バレーボールの競技役員として参加することが出来、横浜の文化体育館東京の駒沢体育館の2会場で任務についた。国立競技場での総合同会式の感激はもとより、東洋の魔女たちの大健闘と金メダルは、日本人の血を沸かせた。しかし、決勝で敗れたソ連チーム控え室での号泣の声は、今でも私の耳に残っている。勝負の世界の厳しさを心から知った大会には多くの戸陵出身者が役員として参加したが、思えば無量のものがある。」

(広報委・池田 清(高19回))



毎回楽しみにしていた「憶い出の社に親しむ会」(中央が小島先生)

今年も校歌祭中止に!!

窓会HPにアップすることで、了承されました。

本年10月2日(土)開催予定でした、第16回青春ながわ校歌祭は、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止になりました。次回(第17回校歌祭)は、令和4年10月15日(土)横須賀で開催の予定です。

令和3年度 事業計画

令和3年

- 4月13日(火) 創立119周年開校記念日
6月12日(土) 本部臨時役員会
6月27日(日) 令和3年度通常総会
7月18日(日) 厚木連合戸陵会総会
9月中旬 校歌祭練習会(中止)
9月26日(日) さくら戸陵会総会
10月2日(土) 第16回青春ながわ校歌祭(中止)
10月18日(月) 第7回チャリティゴルフコンペ
11月13日(土) 秦野戸陵会総会(未定)
11月20日(土) 憶い出の社に親しむ会(中止)

令和4年

- 3月6日(日) 藤沢戸陵会総会(未定)

※その他の各支部会総会は、中止となりました。

# 厚高とオリンピック

2020年夏季オリンピックの開催地が東京に決定した2013年9月8日の早朝、このニュースに日本中が沸いた。厚高出身者とオリンピックの関わりを紐解くと、古くは1924年(大正13年)のパリオリンピック陸上競技の5000mに、当時外交官としてパリ在勤中の岡崎勝男氏(中9回、外務大臣、第3代同窓会長、故人)が決勝進出の大健闘。近くは、1996年(平成8年)のアトランタオリンピック野球競技で、日本の銀メダル獲得に大きく貢献したのが、当時日本石油野球部の川村丈夫投手(高43回、現横浜DeNAベイスターズ投手コーチ)である。

1964年(昭和39)の東京オリンピック。約10万人の手によって行われた国内聖火リレーのランナーに、厚高の陸上部員6名が選ばれた。現在市内在住、在勤者は小俣久氏(高17回、当時3年)、小島富司氏(高18回、同2年)、首藤(旧姓井上)二三夫氏(高19回、同1年)の3人。

そして1年延期となった2020東京オリンピック。聖火ランナーに厚高OBの2名が選ばれた。設計事務所代表で応援団OB会幹事長の阿部洋氏(高22回)と愛川町立中原中学校の数学教諭野口博史氏(高29回)。コロナ対策で実施直前に公道での聖火リレーが中止になるなど残念な思いをした二人。それでも代替イベントとして実施された6月29日の点火セレモニー「トーチキス」では大きな感動を受けたという。

広報委・池田 清(高19回)

## 聖火ランナー

### みんなで厚木を盛り立てたい

阿部 洋(高22回)

「Hope Lights Our Way 希望の道を、つなごう」東京2020聖火リレーのコンセプトだ。

6月29日、中止された公道での聖火リレーに代えて相模原市の橋本公園で聖火の点火セレモニーが実施された。ギリシャからの聖火を自分のトーチから次のランナーのそれに繋いで行くトーチキス。思い思いのポーズを二人のラン

ナーが壇上で披露していく。ボンという聖火の点火音。赤く燃える炎。会場からの拍手。実際に体験してみるとやはり感慨深い。

コロナ禍で国民の過半がオリンピックの開催に前向きになれないと聞く。自分の胸中も揺れ動いた。果たしてこのままで良いのか。辞退すべきではないのか。気持ちを整理するために2年前の聖火ランナー応募動機を見直した。



『厚木市在住。67歳。厚木市のまちなみと自然に囲まれながら、早朝5.5kmのウォーキング・ジョギングを継続中。厚木高校時代は応援団長。約1200名の全校生を統括。25歳で厚木青年会議所に所属。20周年理事長として「厚木好き人間」をテーマに街づくり運動を展開。過去最多40名の会員を増強。その後、厚木市で3番目となるロータリークラブの創立に参画。5周年会長、1M実行委員長を歴任。現在、厚木商工会議所常議員、厚木市設計監理協合理事長、厚木高校同窓会理事、厚木高校応援団OB会幹事長を勤める。先天性心疾患の次男を亡くした30代、癌の転移で直腸・腎臓・肺臓の手術を余儀なくされた40代、バブル崩壊後の仕事量の激減の影響を受けた50代、困難な時も厚木に根ざし乗り越えてきた。その延長線上に充実した現在がある。東京五輪の聖火ランナーとなり、これまでの人生に関わってくれた多くの仲間、先輩、後輩、社員、家族に感謝し、喜びを分かち合いたい。』

経歴を並べた稚拙な自己PR文で気恥ずかしいが、高齢者と思えない前向きな姿勢が応募選定者に訴求したのだろうか。聖火ラン

高で終わる。少し笑える。気持ち晴れる。聖火ランナーとして自分の役割があるとすれば前向きに考えて行動することだ。

走行区間も決定し必ず応援に行くことも多く、知人から声かけを頂き、トキめきさえ感じていた。走行日の2週間余り前、突然、公道での聖火リレー中止が発表された。残念だが仕方ない。多くの方と喜びを分かちたいという夢は叶わなかったが、家族の前でトーチキスを披露できただけでも幸運である。本年10月には70歳の誕生日を迎える60代最後の年に様々な新たな経験ができたことに心から感謝したい。そして(妻は反対だろうが)生涯現役をめざす新たな気持ちが生えた。

## 聖火ランナー

### 待ちに待ったトーチキスに感激

野口 博史(高29回)

20年ほど前、学校が週5日制になろうとしていたとき、地域の青



少年健全育成会の役員をやっていました。役員で「土・日曜日に地域で子どもたちが活動できる行事をやろう」と考え、田植え、稲刈り、餅つき、ハイキング、登山といった行事を企画・運営しました。地域の子どもの地域で育てるといって25年間、青少年健全育成会のみならず、子ども会や町子ども連絡協議会などさまざまな立場から地域の子どもたちと関わってきました。今回、愛川町でボランティアとして青少年の健全育成に関わっている方々にエールを送るつもりで聖火ランナーに申し込みました。

バラリンピックが1年延期となり、周りの方に「残念でしたね」どうなるのですか」と言われるたびに落ち込むこともありましたが、しかし、まじめに生きていけば必ずいいこともあると信じ、前向きに取らえて行動してきました。地域で小中学生を対象とした行事ができない状況が続きましたが、今の自分の立場で自分にできることは何かを考え、できる範囲の中で地域との関わりを深めていきながら活動してきました。定年を2年以上過ぎ、立場が変わって中学校の非常勤という仕事に就きながら、多少時間に余裕ができた中で、自分らしさを忘れずに、これからも地域の青少年の健全育成に尽力していきたいという思いを強めた日々でした。

楽しみにしていた聖火リレーは、公道を走れず、トーチキスという形となりました。ランニングや登山が好きだった私にとって、聖火を持って走ることができず、大変残念な思いだったのが本音です。しかし、トーチキスの当日は気持ちが高ぶっていたことも確かです。トーチを渡されたときはその重みに驚き、ステージの裏で順番を待っている間は違った意味での重みを感じていました。自分のトーチに聖火が灯ったとき、1年6ヶ月の間、待ち続けた瞬間であり、感動を覚えました。今までやってきたボランティアが意義のある活動だったと改めて確信した瞬間でもありました。

私は、今も様々な立場からボランティアとして、地域の子どもたちと接しています。これからも地域の子どもたちのために自分のできることを考え、実行していきます。

学校情報

本年3月に上前悟校長が定年退職され、4月の異動で新たに大沢利郎校長(上溝南高校)をお迎えしました。大沢校長は、以前教頭として3年間本校に勤務され、今回再び着任さ

れました。また、矢野悟教頭が江南高校に転任され、新たに本校出身の齋藤麻紀教頭(旧姓塚野、高42回、総合教育センター)が着任されました。

着任のご挨拶



校長 大沢 利郎

のみならず、緊急事態宣言下で春の大会も中止が相次ぎ、生徒諸君は我慢ばかり強いられる1年間でした。現在も新入生の宿泊オリエンテーションを中止とし、2、3年生の遠足は延期を余儀なくされるなど、影響は続いております。

そんな中でも、SSHの発表をオンラインで行ったり、多くの制限はありながらも戸陵祭を体育部門・文化部門ともに行い球技大会も工夫の中実施するなど、生徒諸君は歩みを止めることなく、学びを続けてくれました。職員も、ICTを積極的に活用しながら、最先端の学習を進め、学力を高める努力を重ねております。また、1棟は現在耐震工事を行っており、10月までは3年生並びに職員室・事務室等がグラウンドに建て

られたプレハブ校舎で教育活動を行っております。そうした厳しい状況の中、同窓会には多大な支援をいただき、他の予算とも合わせ、全教室にプロジェクタを設置することが出来ました。これにより、生徒それぞれの回答や意見を瞬時に黒板に投影して学びを深めたり、オンラインの講演を教室で三密を防ぐ安心安全な環境で受けることが出来るなど、教育効果が期待できる環境を整えることが出来ました。

第53回茅賞

長距離走の精神で 一步一步前へ



安倍 立矩さん

学業・部活動・人物などすべてにおいて優れている卒業生1名に贈られる茅賞は、安倍立矩(あべ、りく)さん(3G)が受賞した。

別項でご紹介する通り、進路の面でも高大接続改革初年となる不安の多い年でしたが、例年以上の成果を上げてくれるなど、生徒は引き続き頑張っております。今後ともご支援くださいますようお願いいたします。

見交換し、根拠を持って判断し、わかりやすい言葉で伝えるといった言語活動の経験が、厚高生の将来を必ずや豊かなものにするでしょう。

懐かしい母校、厚高

教頭 齋藤 麻紀(高42回)



か。与えられた責任に身が引き締まるとともに、幸せを噛みしめています。さて、我が厚高は私が高校生だった時代の面影を残しつつ、新しい時代を生き抜く若者を育成するためのビジョンをもった教育活動を展開しています。県央で唯一の「学力向上進学重点校」として、また、文部科学省指定「スーパーサイエンスハイスクール」として、授業や特別活動等の様々な場面に

この度の人事異動で教頭として着任しました。教職員として神奈川県に採用されてから今年で28年目になりますが、退職するまでに一度は母校に勤務したいと思っていたので、内示をいただいたときは驚きと同時に喜びがあふれてきました。母校に帰れることは多くの教職員の夢ではないでしょう

授業や特別活動等の様々な場面に於いて、高い水準の思考・判断・表現をする機会を生徒に提供しています。教師が教科書を教えるのではなく、教科書や教材で教える。中には教科書のない科目もありま

す。知識や情報をもとに考え、意

同窓会のみならず、あらゆる場面で御支援いただき大変感謝しております。どうか今後とも母校厚高のためにお力添えをくださいますようお願い申し上げます。

「走る以外はスポーツが苦手。料理もしたことがなく、調理実習では洗い物専門でした」と笑う。

「コロナ禍で残念だったこととして、2年次のリレーメンバーで大きな大会に出ることなく終わったことを挙げ、「正直、南関東には行けたと思う。みんなで走りたい」と振り返った。陸上への思いは熱く、大学でも続けるという。シューズ作りの研究に自身もデータを生かしたいという思いもある。「インカレや社会人と競う日本選手権で結果を出したい」と力強く目標を語った。

『厚高新聞』第266号より抜粋

再生可能エネルギー事業



マグメディア株式会社

代表取締役 福田重男(高13回) 顧問 落合重治(高13回)

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3丁目12番18号(ハケの原工業団地内) 電話042-773-2626(代)

過去5年間の主要大学合格者数

[現役・既卒の合計数 ( )は既卒者] 令和3年4月1日現在

Table with 7 columns: 学校名, 令和3年春, 令和2年春, 平成31年春, 30年春, 29年春. Rows include 国立 (北海道, 京都, etc.), 公立 (首都大学東京, 横浜市立, etc.), 私立 (青山学院, 神奈川, etc.).



選手宣誓を行う杉山史浩主将

高校野球2年ぶり開幕  
選手宣誓は厚高・杉山主将

第103回全国高校野球選手権神奈川大会は、176チームが出場して7月10日(土)に開幕。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、2年ぶりの開催。開会式は行われず、選手宣誓は大会初日に、サーティーフオーブ土ヶ谷球場(横浜市保土ヶ谷区)で実施。

6月5日に行われた組み合わせ抽選会では、選手宣誓を希望した103チームが抽選。厚高高校の杉山史浩主将に決まった。杉山主将は、「なんとなく来るかな?という予感があった。現実になりびっくりしたのうれしさが混ざって動揺しました」と笑顔。宣誓の言葉は、3年生部員とともに考え、顧問と校長に相談して決めたという。「コロナ禍で2年ぶりに開催していただけることへの感謝を、関わる人たち全員に伝えたい」と話す。

『タウンニュース』厚木・愛川・清川版(2021年7月9日号)より  
◆ ◆ ◆  
なお、厚高の初戦は7月14日、小田原球場で鶴嶺高校と対戦し、0対1で惜敗した。

『厚高新聞』27年ぶり最優秀賞  
第70回県高校新聞コンクール

新聞部が神奈川県高等学校新聞コンクールで1993年以来の最優秀賞・県知事賞に輝いた。受賞したのは昨年10月発行の厚高新聞第265号で、「生徒が読みたくなる新聞」と評価された。また全国高等学校新聞年間審査賞1次審査においても入賞を果たした。

最近5年間の進学状況

Table with 6 columns: 卒業生進路, 令和3年高73回, 令和2年高72回, 31年高71回, 30年高70回, 29年高69回. Rows include 国立大学, 私立大学, 短期大学, etc.

(有) 神山クリーニング店

取締役会長 神山 宏 (高17回)

〒252-0027  
神奈川県座間市座間1-3185-2  
TEL: 046-251-0201  
FAX: 046-255-2525  
携帯: 090-2451-9778  
MAIL: kamiyama@tanzawa.or.jp

総合電気設備工事  
眞崎電工株式会社

代表取締役 眞崎 和秋 (高22回)

〒252-0027  
神奈川県座間市座間1-3275  
TEL 046-251-2054  
FAX 046-255-5488  
MAIL mdk@mbe.nifty.com

創業明治十三年  
大矢製畳株式会社

代表取締役 大矢 正次 (高14回)

〒252-0027  
神奈川県座間市座間1-4188  
(座間小学校西側)  
TEL 046-251-0032  
FAX 046-251-6848

# 令和2～3年 部活動ダイジェスト

## 【軽音楽部】

昨年9月21日に県民共済みらいホールで行われた第20回神奈川県軽音楽コンテストの代替大会決勝に出場した「vis+a」が準グランプリ、「ユナイテッド高野豆腐」が奨励賞を受賞。また、同部は2、3年生のバンドすべてが予選を勝ち抜き決勝に進出するという快挙も成し遂げた。

第18回県総文祭軽音楽コンクールで2年生バンド「パネンカ」がグランプリ、「TのPPER(とっばー)」が準グランプリを獲得。「TのPPER」は県代表として6月19日、20日に大阪で開催された全国軽音フェスティバル決勝に出場した。

## 【ダンスドリル部】

昨年11月21日に行われた関東ダンスドリル秋季競技大会で2位を獲得し、全国大会への出場を決めた。また12月27日に行われたJCD Aでは3位を獲得した。同部は昨年2月15日に行われたUSA Nationals 2020で2位を獲得し全国大会への出場を決めたが、コロナの影響で大会が中止となり悔しい思いをした。

## 【吹奏楽部】

昨年11月14日に綾瀬市オーエンス文化会館での県央アンサンブルコンテストに木管8重奏、金管5重奏の2団体が出場し、ともに金賞を受賞し、県大会への出場権を得た。

12月20日に座間市ハーモニーホールで行われたアンサンブルコンテスト県大会では、木管8重奏が金賞、金管5重奏が銅賞を受賞した。

3月28日に文京シビックホールで開催された第9回シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会にて見事銀賞を獲得した。

## 【弓道部】

5月16日と23日に行われた第66回全国総合体育大会県予選会では、男子・女子ともに団体4位を獲得。1週間後の2次予選会決勝では、惜しくも3位で、インターハイ進出はならなかった。

## 【陸上部】

5月23日の第59回県総体では、男子4×400メートルリレー決勝で6位入賞、南関東大会出場を果たしたが、惜しくも予選敗退となった。

## 【山岳部】

5月29・30日に行われた県総体・関東予選において、男子隊、女子隊共に2位となり、関東大会出場を決めた。山岳部の大会は実技である登山だけでなく筆記試験もあり、登山と勉強の両立が大変だと部員は言う。

## 【囲碁将棋部】

6月13日に行われた神奈川県将棋夏季個人戦で同部の平井太郎君が4回戦を勝ち上がり決勝に進出した。小学校高学年の時に祖父の勧めで始めたという将棋。憧れの棋士は藤井聡太2冠。これからも続けたいと話し、「まだ知らない色々な手を覚えて、最新の戦い方をやってみよう」と意気込みを見せた。

## 【演劇部II菅原愛さん(今春卒業)】

「2020年子どもが上演する劇脚本募集」で特選(1編)に次ぐ入選(3編)の快挙を果たした菅原さん。高校生の入賞は6年ぶりという。演劇部に所属し、2年生から脚本を欠き始めたそうで、受賞作品は1昨年演劇部が県3位金賞に輝いたときに上演した作品「青の色」。

【厚高新聞】第265号(20年10月27日)〜第267号(21年7月21日)より

### 令和2年度 部活動大会実績(県大会ベスト16位以上)

部活動名	受賞日	具体的名称	種目・団体	成績	大会レベル
軽音楽	7月26日	第13回 全国高等学校軽音フェスティバル in 大阪城		優秀賞	全国
軽音楽	8月6日	第45回全国高等学校総合文化祭 和歌山ブレ大会		神奈川県代表	全国
軽音楽	9月21日	令和2年度神奈川県高等学校軽音楽コンテスト		準優勝	県
軽音楽	9月21日	令和2年度神奈川県高等学校軽音楽コンテスト		奨励賞(3位)	県
軽音楽	9月21日	令和2年度神奈川県高等学校軽音楽コンテスト		連盟会長賞	県
軽音楽	10月21日	第20回TEENAGE KICKSグランプリ大会		優秀賞	全国
軽音楽	11月16日	MUSIC DAYS 2020 FINAL		審査員特別賞	全国
軽音楽	11月16日	MUSIC DAYS 2020 FINAL		出場	全国
軽音楽	12月8日	第18回神奈川県高等学校総合文化祭軽音楽コンクール		優勝	県
軽音楽	12月8日	第18回神奈川県高等学校総合文化祭軽音楽コンクール		準優勝	県
軽音楽	12月8日	第18回神奈川県高等学校総合文化祭軽音楽コンクール		専門部会長賞	県
軽音楽	12月20日	全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2020		優勝	全国
軽音楽	12月20日	全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2020		入賞	全国
軽音楽	3月27日	第6回 We are Sneaker Ages 関東グランプリ大会		準優勝	関東
新聞	12月18日	第25回全国高校新聞年間紙面審査賞		入賞	全国
新聞	11月12日	第70回神奈川県高等学校新聞コンクール		最優秀賞	県
吹奏楽	3月29日	第9回シンフォニックジャズ&ポップスコンテスト全国大会	団体	銀賞	全国
ダンスドリル	3月26日	USA School & College Nationals 2020	団体	Pon/Dance部門3位	全国
ダンスドリル	12月27日	ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2020	団体	Cheer Dance部門高校生編成3位	全国

＝おかげさまで99年＝  
**三橋建設産業(株)**  
 代表取締役 三橋 要(高21回)  
 一級建築士 一級建設施工管理技士  
 一級土木施工管理技士  
 本社/神奈川伊勢原市田中975  
 事業部/神奈川伊勢原市板戸806  
 TEL 0463-95-1133  
 FAX 0463-94-2727

～ お酒のご注文は～  
 (高29回)  
**小沼酒店**  
 ONUMA LIQUOR STORE  
 TEL 0463-94-3438  
 FAX 0463-92-3902  
 〒259-1132 神奈川伊勢原市桜台1-12-14

神奈川県知事登録(10)12573号  
**有限会社 一伸工業不動産部**  
 代表取締役 村井 良行(高21回)  
 事務所 〒243-0213  
 神奈川厚木市飯山3061番地  
 電話 046-250-0071  
 FAX 046-247-1688  
 携帯 090-3136-3358  
 Mail info@issin-kogyo.com

支部会便り

さくら戸陵会

浪曲脚本家

「浦野ととさんに聞く」

広報委員 剣持 典子(高26回)

浪曲脚本『ソメイヨシノ縁起』で国立演芸場平成29年度第19回大衆芸能脚本募集(浪曲部門)奨励賞を受賞し、同作品が令和2年度第75回文化庁芸術祭主催第442回国立名人会『夢追う人びと』で上演された。浪曲脚本家の本校卒業生浦野ととさんにインタビューさせて頂きました。

Q1 いつから、どのようなきっかけで、浪曲の脚本を書かれるようになったのですか  
A1 会社を52歳で早期退職した後、半年間職業訓練校で植木屋修業をしました。その中で茶道のいわゆる『茶庭』に伺った時、雷に打たれたように日本の伝統文化を受容するDNAが起動しました。同時期に腕を骨折した伯母から「もう弾けないから」と長唄三味線を譲り受け、方々に三味線演奏を聴きに行く中、浅草木馬亭で出会ったのが浪曲です。当時の木馬亭は定式幕がボロボロで穴が空いていました。お客もガラガラ。でも浪曲師と曲師(三味線弾き)の掛け合いはジャズと同じで阿吽の呼吸が素晴らしい、引き込まれました。

Q2 今回の受賞作のあらすじは、どのようなものですか  
A2 所は江戸・染井村。松の手入れを専門とする庭師「植政の政五郎」のもとで修業中の与兵衛は桜が大好き。村の頭

目から「苗場に見慣れない桜が咲いた」と聞き心躍らせる。今もなお、人の心を揺らす花ソメイヨシノ誕生の物語です。この演目の浪曲師玉川奈々福さんは浪曲界の女神と言われている。「浪花節で生きてみる!」「語り芸パースペクティブ」かたる、はなす、よむ、うなる。2冊の彼女の本で雰囲気味わってからの続きは是非劇場で、このパワー溢れる芸能に触れてみて下さい。



左が浦野ととさん、右が玉川奈々福師匠

終わりに浪曲「ソメイヨシノ縁起」についてもっと詳しく知りたい方は、パソコン・スマホで「ソメイヨシノ縁起」と検索して下さい。素晴らしい現代の浪曲に、びっくりすること間違いなしです。

師としてお呼びしたり観劇やコンサートにでかけたりと活躍を盛り上げる事業をしてまいりました。ここで今までの事業を紹介させていただきます。第1回は東京スカイツリーへの見学。建設に携われた(株)日建設計の元会長三柄邦博氏(高11回)にスカイツリーの心柱を含めて構造についての話を頂きました。バスを貸し切ったの事業でした。

次は産経新聞社。現戸陵会熊取会長(高19回)が当時社長に就いていられた。「メディアの舞台裏」と新聞社ならではの話を分かり易く聞かせて頂き、続けて社内見学です。刻々と変わる国内外の情報を送り出す現場に驚き、改めて真実を伝えるベンの重さを感じたものでした。号外!さくら戸陵会訪問「プロカメラマンの撮影の1枚まで出して頂きました。この時は皇居東御苑の散策もし、バスでの大人の社会見学でした。」

毎回この事業には同窓会会長はじめ本部役員、事務局、さらに講演者同期の方々はじめ会員の皆様、そして学校からも校長先生と、皆様のお力を頂き大変とお世話になっております。大変ありがとうございます。感謝申し上げます。私達は春になると、今年卒業生にどんな応援ができ、そして協力をして頂けるかと頭を悩ませ、会員の方々の親善をどのように提供できるかと考えております。これからも多々分野でご活躍の同窓生にご協力いただき、そしてこの機会に女性の皆様には是非参加いただけますようお願い致します。

同窓生の応援団

会長 八田 育子(高24回)

今年度より会長を引き継ぐ事となりました。どうぞ宜しくお願い致します。

引き続き新型コロナウィルスの蔓延で、総会とそれに伴う事業が開催出来ない状況にありました。この会は母校創立110周年の年に女性会員の連携と親善を深める目的で発足致しました。そして総会時には、同窓生を講演会の講

事と思われま。さくら戸陵におきまして、1昨年10月の台風にか

師としてお呼びしたり観劇やコンサートにでかけたりと活躍を盛り上げる事業をしてまいりました。ここで今までの事業を紹介させていただきます。第1回は東京スカイツリーへの見学。建設に携われた(株)日建設計の元会長三柄邦博氏(高11回)にスカイツリーの心柱を含めて構造についての話を頂きました。バスを貸し切ったの事業でした。

土屋保保氏による「西郷隆盛と坂本龍馬」の講演を興味深く聞かせて頂きました。学生時代に戻ったような気分が味わえました。どの声も頂きました。そして昨年内山順造氏(高33回)に、最新の老化研究に関する講演をして頂く予定でした。コロナ終息後には大変興味深い話を是非お願いしたいとは思っております。

産経新聞社を訪れたさくら戸陵会メンバーと記念撮影する熊坂隆光社長(高19回)



産経新聞社を訪れたさくら戸陵会メンバーと記念撮影する熊坂隆光社長(高19回)

扉座 40周年記念公演 水テールカプリフォルニア 一私戯曲・県立厚木高校物語ー 12月4・5日 厚木市文化会館大ホール 12月8日~19日 紀伊國屋ホール 主宰/劇作家・演出家 横内謙介(高32回) 俳優 岡森 謙(高32回) 俳優 六角精児(高33回) https://tobiraza.co.jp

安 有限会社 秋山安太郎石材 代表取締役 秋山 良次(高27回) 事務所 神奈川県伊勢原市日向576番地 電話 (0463) 95-2490 FAX (0463) 91-4144 工場 (0463) 94-1222

株式会社 松本企画 代表取締役 松本 茂(高20回) 〒259-1114 神奈川県伊勢原市高森2-17-6 TEL 0463-95-8668 FAX 0463-95-8670

伊勢原戸陵会

設立70周年記念の大山登山

副幹事長 小川 均(高22回)

伊勢原戸陵会が設立されて、令和2年で70周年を迎え、記念行事として令和2年10月25日(日)に、大山登山を実施しました。

大山登山が現役のころの学校行事として行われていたこと、「阿夫利の高嶺」と校歌に謳われていることから企画しました。かつて厚高生時代に大山登山したあのころに思いを馳せながら、伊勢原をはじめ近隣戸陵会のメンバー約30人が参加しました。

健脚班は

ヤビツ峠から山頂へ

参加者は、ヤビツ峠から大山山頂を目指す健脚(矢倉沢往還、西からの大山みち)班、もう一つは山頂班と下社で合流し参拝する班に分かれてそれぞれの大山を目指しました。

ミシユラン二つ星の眺めを満喫

当日は、天気にも恵まれ、スカイ



大山山頂にて



宿坊大滝荘・武田旅館にて

ツリ、東京タワー、三浦半島、江ノ島、大島、伊豆半島、富士山、丹沢山地(二の塔、三の塔、新大目塔の岳、丹沢山)など壮大なスケールの眺望が楽しめました。

神奈川県内では、トップクラスの登山客数を誇る大山。山頂や本坂ではかなりの登山客で賑わって

秦野戸陵会

納涼バーベキューのつどい

幹事 河合 聖(高26回)

前日までの猛暑がやや落ち着き、時折吹く風に秋の気配も感じられた令和2年8月23日、延べ15名の参加者を集め、秦野戸陵会納涼バーベキュー大会が行われました。

場所は谷茂会長(高22回)のバラ園。市内千村の丘の上にズラリと並ぶ温室群の一角、雨や日差しを除ける屋根以外は鉄骨の骨組だけという、絶好のバーベキュー会場。この日は本格的な生ビールのサー

バーも持ち込まれ、リゾートのビアガーデンといった雰囲気も醸し出されていました。開会に先立ち、コロナ対策として、全員インジウが言葉で喉をすすぎ、谷会長の挨拶、高橋昌和秦野市長(高27回)の祝辞を経て乾杯。今年一月に長年経営された割烹やなぎ家を閉められた柳川清紀さん(高24回)夫妻提供の各種上質の肉が

次々に焼かれ、生ビールの消費もガンガン進みます。この日は幹事も兼ねているとあって、頃合いを見計らって全員着席しての話し合い。丁度駆けつけた同窓会事務局の志村次長、伊

ました。下社拝殿の参拝では、伊勢原戸陵会や同窓会のますますの発展と、参加者の健康を祈念しました。

宿坊で懇親会

下山後に、登山は無理だけれど、懇親会に参加したい方も加わり、

同窓生が経営する宿坊大滝荘・武田旅館で大山名物の豆腐料理にも舌鼓を打ち、コロナ禍で心配はあったものの、エールや校歌斉唱、昔話や近況の話題などに花を咲かせ、戸陵会会員のさらなる連帯感を高めました。



谷会長のバラ園で行われた納涼バーベキューのつどい

シヨウ歯科医院
院長 歯科医師 新野見 昇一(高36回)
〒252-0002 座間市小松原1-26-22遠藤ビル1階
TEL 046-255-0118
○座間市歯科医師会 常務理事
○国際和合医療学会 理事

浦 恭子税理士事務所
所長 浦 恭子(旧姓:赤津)高36回
〒245-0008 横浜市泉区弥生台6-35
TEL045-811-9332
※税理士業務 行政書士業務対応

KUMON
公文書写南町田鶴岡六丁目教室
木質 美鈴(旧姓:柑本)高36回
〒194-0004 町田市鶴岡6-53-24
090-1429-1631
くもんの書写は、選べる4教科 /
ペン習字 かきかた
筆ペン 毛筆





号堂記念館



津久井戸陵会

禍を転じて福と為す

広報委員 小室 久敏(高20回)

昨年の1月から始まったこのコロナウイルスのパンデミックで津久井戸陵会の活動もすべて自粛となった。春の総会、夏の暑氣払い、冬の懇親会などすべて取り止めた。これは緊急事態宣言が出されたことで致し方ないところ。また会員は高齢者が多いことからたとえ少数で集まっても方が一のクラ

スタ一発生などという事は絶対避けなければならぬ。ということでも有り余った時間を使い密閉、密集、密接の3密を避けあちこち散策をした。津久井地区「相模原市緑区」の中を巡っている中に尾崎号堂記念館があった。ここに改めて尾崎行雄の生涯を

平塚戸陵会

私が今あるのは

副会長 岡崎 雄二(高15回)

時は昭和34年12月、初めて厚木の地を踏んだ日でした。私は茅ヶ崎市立茅ヶ崎第一中学校の3年生でした。必然的に進むべく高校は厚木高校でした。驚いた事が2つ、その1つは坊主頭になる事、2つ目は女子生徒が居た事です。

運命を決定づけたと言って過言ではありません。その当時では解らぬ障害(現在のダウン症候群)を持って出生しました。23年の事です。

行動開始、義母と日参の毎日でした。その甲斐あって東京大学入学よりも難しい切符を得ました。弟10歳にて家を離れるのです。私に喜びはなくホッカリと心に穴が開き何とも言えぬ罪悪感が集り弟に詫げる毎日でした。厚木高校を卒業するまでの3年間、毎週末進和学園でボランティア活動をしながら将来職員になる決意を固め、念願叶って43年4月、進和の一員となりました。

私は終戦前の8月に台湾県高雄で生を受けました。高雄の雄の字と男の2番目という事で「雄二」と名づけたと父親から聞きました。終戦の11月に産みの母親がマラリアにて他界、まだ26歳でした。父は妻の遺骨、兄、私を抱えて這這の体で故郷である山口県岩国市(錦帯橋と日本酒壺祭で有名)に戻るのが出来ませんでした。

そして、26年4月の横浜桜木町事件(国鉄の火災事故)にて父の実妹が不運にも乗り合わせ焼死。残された子供3人(従兄弟)を育てるために茅ヶ崎市に転居。遺児3人のうち父の実姉宅(東京)で上の2人、父が末の1人と「愛」の責任を分かち合いました。

これが私のこれまでの「あゆみ」です。やはりダウン症の弟との出逢いが私の「幸」の生涯の源であったと確信しています。高校の想い出があまり書けませんでしたでしたが良き3年であった事は間違いありません。

迎ってみよう。安政5年(1858年)に相模国津久井県又野村(現・神奈川県相模原市緑区又野)に生まれた。父は漢方医。先祖は今川義元の家来で武田信玄に攻められ没落、天正18年(1950年)以後に移り住んだ模様。慶應義塾工学寮(現・東京大学工学部)などを経て新潟新聞の主筆となった。明治23年(1890年)の第一回衆議院選挙に三重県選挙区から出馬して当選、以後63年間、25回の連続当選する。当選回数・議員勤続年数・最高議員記録を持つことから「憲政の神様」「議会の政治の父」と呼ばれる。また明治

36年(1903年)から同45年(1912年)まで東京市長を務めた。この時、アメリカに桜の苗木を送りワシントン・ボトマック川岸には約3000本が植樹された。第一次世界大戦後の悲惨なヨーロッパを視察してから軍縮論者となり治安維持法に反対し政界で孤立していく。その中で全体主義に抵抗した。昭和17年(1942年)の翼賛選挙では非推薦で当選した。その信条と政治に向き合う姿勢は未来への希望の灯であった。そして何が正しかったか、歴史が証明した。現代の私たちに大事なことを教えている。

七輪炭火 焼肉 味ん味ん 株式会社味ん味ん 代表取締役 三上 賀通(高36回)

みひらクリニック 〒242-0023 大和市渋谷4-8-4スカイステーション101 TEL 046-201-2220 FAX 046-201-2221 院長 三平 将彦(高36回)

湘南台 SHONANDAI Neurosurgery Clinic 脳神経外科クリニック 院長 落合 周太郎(高36回) 脳神経外科・内科 https://shonandai-neuro.jp TEL.0466-45-5500 〒252-0804 藤沢市湘南台 2-7-15 東急トエルアルス湘南台アクセス1F

相模原戸陵会

相模原戸陵会(旧両青会)の歩み  
平成元年創立から32年

事務局長 三沢 賢一(高21回)

本会は、小川勇夫氏(高1回)(元 生が中心となり、平成元年1月に相模原市長を始めとする高1回)創設されました。小川氏は、市内



相模原戸陵会

最年長であり教育者として活躍している伊従博氏(中21回)に初代会長をお願いし、会の名称についても相談したところ、明治35年県立第三中学校創立以来大正14年まで在任された、初代校長大屋八十八郎先生の号「両青」をいただき「相模原両青会」としたとのことでした。  
その後、100周年に併せて厚木高校戸陵会が発足した際、「厚木高校戸陵会相模原支部」と名称変更しました。百周年記念式典には、本会から100名余りが参加しましたが、この中には木下辰雄

元相模原市助役(高7回)の声掛けにより数10人の市役所職員が含まれていました。また、当時は地元厚木市を始め、相模原市、座間市、大和市、海老名市の各市長が厚木高校の卒業生であり、厚木高校出身の市職員は肩身が広いものでした。  
現在、相模原市出身の卒業生は、2千名を超えているにも係わらず、本会の総会出席者は50名以下でしかも年々減少傾向にあります。参加者が少ないと会の運営も縮小傾向となります。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を停止していますが、今後は多くの会員の掘起こしと声掛け等により組織強化を図り、本会を盛り上げていければと考えています。両青会以来歴代の初代伊従博会長、二代篠崎源太郎会長(中31回)、三代館盛勝弘会長(高14回)が培った並々ならぬ愛校心と本会への情熱を引き継ぎ、四代金子輝司会長(高15回)を先頭に前進してまいります。  
(注記)  
本稿は、相模原戸陵会創立20周年及び30周年記念誌から一部を抜粋しています。

座間戸陵会

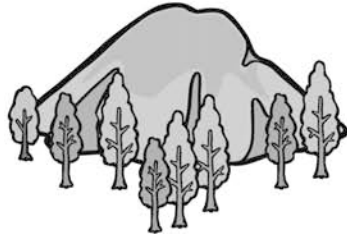
『二足の草鞋』

幹事 齊藤 昌代(高26回)

コロナ禍の令和。ステイホーム中の和室でこんな話が交わされる。  
「相模川を渡し舟で渡っていた頃、渡し舟の代金として貰った小遣いで飯頭を買ってしまったんですって!」  
「えっそれで川は、渡れたのですか?」  
「どうしたんですよ。まあ、ほのぼのとした時代だったわねえ(笑)」  
「寒稽古がある日は、朝早いから自宅で焼いた餅を持参したらしいの。食べる頃はきつとカチカチになっちゃったでしょうに。」  
俄かに明治時代がよみがえる。

明治43年卒業(中4回)松本(古木)一估氏は、冬朝暗いうちから家を出て、坂の下で星野浜次氏(中5回)と合流する。下今泉方面へ進むと、海老名の橋場丑松氏(中2回)が加わり相模川へと3人で歩を進める。相模川から舟で川向こうへ。明治41年に「相模橋」が架かるまでは、渡し舟を利用していらしたらしい。そしてまたひたすら歩いて戸室の丘を目指す。学校に着くと、すっかり履きつぶしてしまった草鞋を新しいものに履き替える。学校が終わると同じ道程を引き返す。2足目の草鞋とともに、もちろん徒歩で。  
帰宅すると、すぐ取り掛かるの

は家の手伝いでも宿題でもなく、2足の草鞋づくり。翌日学校へ通うための重要な仕度である。  
座間から戸室の丘まで、1日2足の草鞋が必要で毎日毎日草鞋を編んでいたという話を松本氏はよくお孫さんに話していた。草鞋が完成したあとは、「ジャパン・タイムズ」に目を通すのが日課だったという。  
近代化の進む明治時代後期を生きた大先輩の「質実剛健」の気概に満ちた「さまのむかしばなし」である。



「おかげさまで54周年」  
大和南林間  
大和南林間  
珍満  
ホルモン  
CHOU-BANG  
菊地 努(高45回)  
営業時間 火～金曜日 17:00～23:00 店休日 月曜日  
土日祝 16:00～23:00  
住所 〒242-0006 大和市南林間2-10-9  
電話 046-275-0590

OPERA LAND  
コンサートプロデュース・CD制作  
音楽教室・レンタルレッスンスタジオ  
Facebook 森口賢二公演情報 →  
森口 賢二(高44回)  
http://operaland.ciao.jp/  
info@operaland.ciao.jp  
住所: 〒186-0002 国立市東1-3-15 国立ダイカンプラザ103

3rd Album  
Moulin Rouge  
さかもと 未明(高36回)  
好評発売中!!  
お求めは弊社オフィシャルストア・紀伊国屋書店Webストアにて。  
さかもと未明オフィシャルストア  
お問い合わせは『MIMEIDIA』まで。  
Mail: mimei7139@gmail.com

愛川戸陵会

同窓林『憶い出の杜』整備

広報委員 大貫 洋(高25回)

令和2年度の「憶い出の杜」に親しむ会」は、コロナ禍の影響で中止となりましたが、同窓林を主管する愛川戸陵会では、令和2年3月に愛川町との分取造林契約が更新されたこともあり、同窓林の整備を例年通りに実施しました。

9月26日(土)、正副会長、幹事長他立会いのもと、地元愛川町森林組合に依頼して早朝6時より下草刈りをしました。【写真①】その後、役員による簡単な手入れを経て、11月21日(土)9時から、13名の参加者で同窓林の整備を行いました。記念撮影【写真②】をしてから、麓の小屋にて焚き火を囲み、お茶で慰労会兼役員会【写真③】を催し、今後の愛川戸陵会の活動について協議しました。

当初、熊取新会長以下同窓会本部から4名が来山される予定でしたが、直近の感染者急増を受け、『憶い出の杜』見学を楽しみにしていられた熊取新会長から、感染



【写真①】下草刈り作業立会い



【写真③】麓小屋 慰労会兼役員会



【写真②】整備作業後参加者記念撮影



【写真④】同窓林『憶い出の杜』下部からの眺め



【写真⑤】防火看板設置

綾瀬戸陵会 長男との二人暮らし

理事 武藤龍太郎(高60回)

昨年の冬に次男が生まれ、妻が1か月ほど里帰りしたため、2歳の長男と2人で暮らしました。普段は残業が多く、平日の子育てはほとんど妻に任せきりでした。そのため、いざ1人で子ども面倒を見るときは、どうして良いかわからないため、やるべきことを妻がメモに残してくれました。ですが、こういう時に限って想定外のことばかり起こります。早速、長男が熱を出したり、布団にお漏らしをしたり、その度に妻に電話して助けを求めました。本当に今まで妻に任せてばかりで何も分かっていなかったなと実感しました。

他にも、ご飯を食べない、お風呂に入らない、寝ないなど、大人になれば、誰でもできることがこんなに苦労するものなのかと思いました。ただ、大変な中でも嬉しかったことが2つあります。



子育て奮闘中

1つ目は、長男の成長している姿を見られたことです。例えば、お腹が空いたときは、私の手を引いて、キッチンまで連れていき、「朝ごはん、準備」と言ってきます。言葉や行動で自分の意思表示ができるようになりました。また、私

“本物志向の金物店” 建築金物・家族金物・工具・刃物 (有)足立原商店 代表取締役 足立原 強(高16回) 神奈川県厚木市水引1丁目1番2号 TEL 046-221-1059 FAX 046-221-1259

イトウスポーツ 代表取締役 伊藤修治(高17回) 〒243-0018 神奈川県厚木市中町2-2-22 2F TEL 046(223)3458・(224)9397

葉山法律事務所 所長・弁護士 葉山 岳夫(高7回) 神奈川県弁護士会所属 〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-4-10 アイディーコート本厚木シティーゲート201号 電話 046(297)3415 FAX 046(297)3416 メールアドレス hayama\_law@king.odn.ne.jp

海老名戸陵会

故杉崎秀夫前会長(高17回)の思い出

元広報委員 廣田 敏之(高17回)

もうかれこれ60数年前の話ですが、海老名市中新田に在住の生徒は4年生までは中新田分校に在籍してました。生徒数は25から30名位の少人数で楽しく勉強をしていました。

確か3年生の時だったと思います。当時彼はヤンチャ坊主だったので、上級生から睨まれる存在だったので、どうしてもいじめなどに会う機会が多かったのだと思います。ある時彼にとつて、屈辱的ないじめがあり、切れてしまい大暴れをして分校中の大騒ぎになりました。保護者が呼び出され、数日間の自宅待機だったと思います。しかしそれ以降、同様な事態が発生したという風聞は聞こえてきませんでした。たぶん自宅待機の期間中に諸々の葛藤がある中で、ある種の心の安定を得るための結論めいた心境になったのでしょうか。その後は彼のヤンチャ度が少し緩和されたように思われます。

藤沢戸陵会

荷にならない持ち物として心肺蘇生法をどうぞ

幹事 井出 勝美(高24回)

私は藤沢市消防局が行っている救命講習会の講師のお手伝いをしております。20代半ばで「藤沢山歩の会」に入り、山歩きを始めました。岩登り・沢登りを教えてくださった先輩からは「事故防止や危機管理能力を身に付け、山には登るべき」とおそわりました。別の先輩からは「植物や生態系のことを知り、

自然に感謝し、そっと山に入り足跡すら残さず帰りたいものだ」と聞きました。私が40代になった頃、個人的にも大変お世話になった先輩が山で倒れました。仲間は40分以上心肺蘇生を続けましたが、戻ってきた時点で、私が出たところか、否何もない自分がいることに

杉崎秀夫氏の略歴

日本大学歯学部卒。昭和50年、海老名市本郷で歯科医院を開業し、長年にわたり地域医療に貢献。海老名戸陵会会長在任中は「地引綱」を初め、各種行事に積極的に参加し、同窓会の発展につくした。令和2年5月逝去。



左から2人目が杉崎氏

訃報

吉川昭広報委員(高26回・睦合戸陵会)の御家族様より

「今まで本当にありがとうございました」

一級建築士事務所を立ち上げ、建築士として生涯現役を買った父です。幼心に、働く父は格好良くそつと事務所に入って、その姿を眺めていた遠き日がよみがえります。

仕事で忙しいなかでも家族と過ごす時間を大切に、キャンプやスキーに出かけたり、海釣りの仕方を教えてくれたり、一緒に楽しい思い出を育んでくれました。多くの友人に恵まれました。みんなで山へ行けば山菜や溪流で釣った魚をたくさん持ち帰り、おいしく調理して食べさせてくれたものです。

活動的だった父にとつて、病で動けぬ身体はどんなにもどかかったことでしょうか。「真奈美さん、真央ちゃん、二人で仲良くね」父が遺してくれた言葉を胸に刻み、前を歩いて歩んでいきますので見守っていてほしいと願っています。(長女 真央 令和3年7月10日、夫吉川昭は満65歳を以てその生涯を閉じました。)

(妻 吉川真奈美)

平成15年からは「藤沢市救命普及指導員」制度ができ、心肺蘇生法やAEDの使い方など教えるお手伝いを始めました。そして、(NPO)ふじさわ救命普及推進会を立ち上げ、地域の救命率を上げる活動が始まりました。受講者が1000人を超えた年・ふじさわ救命普及推進会が10年を迎えた年など、先輩の墓前に報告をおこなってきました。

講習会では心肺蘇生法の手技の習得だけでなく、傷病者に出会っ



心肺蘇生法

教科書 (有)内田屋書房 046-258-6722 代表取締役 内田 喜康(高13回) ■厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F ■東京農大厚木キャンパス店

つるくぼ 耳鼻咽喉科 日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長 医学博士 鶴窪 一行(高26回) 〒243-0018 神奈川県厚木市中町3-3-22 TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

株式会社 肉の田口 厚木市水引1-15-12 046-221-0822 年中無休 営業時間AM10:00~PM7:00 炭火焼ホルモンカルビ焼 焼肉の田口 飯山店 厚木市飯山1093-4 Tel 046-242-1529 恩名店 厚木市恩名2-6-6 Tel 046-244-5629 下今泉店 海老名市下今泉3-1-3 Tel 046-206-4970 代表取締役社長 田口 幸一(高29回)

小鮎戸陵会

あつぎ飯山の  
花の里づくりをめざして

会長 小島 富司(高18回)

新緑の候、皆様方にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。依然として厳しいコロナ禍にあり、支部戸陵会の活動も儘ならないところですが、小鮎地域の情報を紹介いたします。私の

関わる「みどり清流のふるさと創造委員会」では、あつぎ飯山地域の里地里山の豊かな自然環境の保全を目指すとともに、新たな観光資源の創出と魅力ある地域づくりに取り組んでいます。そして、自然環境の豊かさは元より、先人により育まれてきた信仰と暮らしの



あつぎ飯山秋の花まつりのぎざる菊

TVドラマや他の舞台などに後追い企画も生まれました。幕切れのセリフ「故郷とは絆のことだと俺たちは知る」は、鴻上尚史氏著『名セリフ! 人生が変わる30の名セリフ』でも紹介されています。

7日(火)〜19日(日)に上演します。22年ぶりの再演です。観る機会に恵まれなかった方も多いと思いますが、ようやく同窓会からのリクエストに応えて頂けました。岡森・六角の両氏をはじめ、劇団のベテラン陣が高校生役を今回も演じます。還暦に近づく先輩方の高校生姿は、この先何度も見ることはできないでしょう。あらゆる意味でしっかりと見届けなければならぬと思っております。待望の『ホテルカリフォルニア』厚木公演。ぜひ同窓の皆様からの力強い応援をお願い致します。

厚木戸陵会

22年ぶりに再演!

待望の『ホテルカリフォルニア  
私戯曲・梶原厚木高校物語』

A T P市民応援団・事務局 藤野 心(高34回)

横内謙介さん(高32回)、岡森諦さん(高32回)、六角精児さん(高33回)が立ち上げた劇団扉座が今年40周年を迎えました。本来なら昨年のうちから前祝で大騒ぎだったはずですが、コロナで演劇界はとんでもない状況に。発表の場を大きく奪われた劇団でしたが、黙って見ている扉座ではありません。

扉座はどんな時も知恵を絞り攻め続けてきました。リーディング公演に選ばれた10作品は劇団の代表作ばかりですが、横内さんが一人で勝手に決めたそうです。ファンなら誰もが納得の名作揃いですが、入選からまれて心残りか一つ、『ホテルカリフォルニア私戯曲・梶原厚木高校物語』です。

初演は1997年新宿紀伊國屋ホール。厚木では1999年に厚木シアタープロジェクト第2弾として再演されました(私が扉座の応援を始めたのはこの直前です)。ありきたりな青春モノとは一線を画しリアルに面白く切ないと、厚木だけでなく全国的な反響を生み

私には当時1年生でしたが、仕掛け満載で少し背伸びした文化祭に面喰いながら、夕景「ジーンズスカン」の曲に合わせて仲間とボックスステップを踏みました。成績は学年上位だった友人がステップを上手く踏めなくて、少しだけ優越感を感じたことを覚えています。当時の記憶は断片的でしたが、この作品を観て画像と画像の隙間が埋まっていきました(劇中劇に迷いこんだ不思議な感覚)。そして1年生には知る由もない戸陵祭実行委員会の舞台裏が見えてきます。ボックスステップ、戸陵祭テーマソング等々、公立高校の文化祭に櫻打つその中心にいたのが横内さんでした。物語はあの時始まっていたわけです。

リーディング公演の10作品からは外れた『ホテル』でしたが、正式に栄えある40周年記念公演に選ばれました。厚木市文化会館の大ホールにて今年12月4日(土)・5日(日)の2日間上演。その後は新宿紀伊國屋ホールへ移動し12月



『ホテルカリフォルニア』初演時の舞台風景 (撮影:宮内勝)



左から、六角精児氏(高33回)、横内謙介氏(高32回)、岡森 諦氏(高32回)

地域活動支援センター  
白根工房

知的・発達障害のある方14名が通所し、ケーキ作り、自主製品づくり等様々な活動を行っています。

特定非営利活動法人しらね  
理事長 永井 明(高30回)  
〒243-0812 厚木市妻田北4-5-56  
TEL/FAX 046-296-8711

さかります 厚木の地酒 盛升 さがみビール 本格焼酎 旗頭 クラフトジン The Japanese Craft Gin 黄金井 醸造元 黄金井酒造株式会社 高50回 黄金井 陽介

麺や食堂グループ 風味噌ラーメン晴っぴ さんさん食堂製麺 メリケン子三 生餃子パン 晴れはっぴ商店唐揚げ キミとホイップ (株) SANTA CALA 望月 治男(高16回)

厚木連合戸陵会

未知との遭遇  
第6回チャリティーゴルフ大会

会長 伊藤 修治(高17回)  
ゴルフ担当委員長 中山 和男(高26回)

晴、時々くもり、ちよつとの小雨とまずまずの天候にめぐまれ、10月19日(月)に名門厚木C・Cにて第6回チャリティーゴルフ大会が開催されました。

一瞬にして「日常が蒸発」してしまつた本年度、まさに未曾有のコロナ禍のなかで久々の外出そしてゴルフという方も多かつたようです。

同窓会活動も5月の「地引綱」10月の「校歌祭・「憶い出の杜」と主要事業が総じて中止になりました。そんな中、なんとこのチャリティーゴルフだけはと言う声が目増しに強くなり野外でもあり、知恵をしばつてなんとか



3人組、ハーブ集計の特別方式で開催

多くの支部戸陵会・会員の賛同が力となりました。多くの大会とさせて頂きました。多くの支部戸陵会・会員の賛同が力となりました。

「歳々々々・人同じからず」大会は、リミットの126名が参加。多数の同窓生が日頃の腕くらべとばかり意気揚々とプレー。最年長は瀬戸宏孝さん(高4・座間)、続いて稲垣嘉則さん(高6・座間)、川田善久さん(高7・厚木)。

睦合戸陵会

「地域の役に立ちたい」  
同級生の梶原功嗣君(高26回)のメモ

広報委員 吉川 昭(高26回)

「48年も前のことだけど、小沢同じクラスだったよな。俺のことわかる?」「誰だっけ?」「同じクラスで出席番号がすぐ後ろだった梶原だよ!」しかし、小沢君の記憶には梶原君の名前と顔が出てこなかったそうです。確かに私も高校3年の時同じクラスであったが、ゴルフコンペの集合写真に写る梶原君は、記憶にある梶原君とどうしても一緒に

ならなかったのです。あの頃彼の後ろに私が立つても全く彼のシルエットに隠れてしまうようなタイナミックな大きな人でした。「あの頃は約0.1トンだった。今は70kgくらいかな?」だそうぞうぞう。

梶原君は、相模湖町から通学していました。相模湖から三ヶ木バスターミナル、そこで半原行きに乗り換えて半原バスターミナルへ、そこから本厚木駅行きのバスに乗り本厚木駅、そして厚木高校まで通学していたそうです。遠くから入学された先輩の方々には、校内にあった寮に入つて高校生活を経験された方がおられ、厚木高校の寮歌があるというのを創立100周年事業の折に初めてお聞きしました。そんな遠いところから通学していた梶原君が話してくれた言葉に惹かれ、今回は高26回卒業同期の一人として紹介したいと思ひます。

取材当日、相模湖町(今は相模原市与瀬)に大正時代から続く医院の3代目の彼の診療を多くの患者さんが待合室で待つておられました。医院の建物は、大正時代の建築様式を取り入れたモダンな建物で、大きなシャンデリアと階段がまさに懐かしさを思い出させてくれる建物なのです。現代の医院建築といえば、近代的なRC構造やシンプレックスな形態が多い中、あえて大正時代の建築様式にしたというには深い思いがあったそうです。初代は眼科医、2代目は産婦人科、2階の応接室には初代、2代目が使用された医療器具が今でも使用できるかのように医療用扉の奥に並べてありました。彼の専門は整形外科ですが、現在はそれだけでなく介護施設リハビリテーション施設を合わせて提供しています。この施設は双方ともに長野県で古民家を移築したもので、古民家の持つ暖かい肌触りと強固な骨組みを残しながら新たに優しさを取り入れた建物に様変わりして、地域の多くの方々への憩いの空間を作り出しているのです。施設の建物の中から歌声が聞こえてきた時にはちよつとびつくり、後で彼に聞いた「人は言葉覚えづらいけれど、メロディーにある言葉は覚えやすいよ。だから、音楽はすごく大切なんだよね!」スクラップ&ビルドの時代からインベーションの時代へと世の中は変わりました。古民家の再利用により新しい空間を提供している梶原君の言葉に「地域の役に立つこと」という意味が含まれていることに気が付きました。

ENEOS 爽快なドライブをサポート!  
ENEOS株式会社 販売店  
有限会社 飯山石油  
代表取締役 森久保純生(高16回)  
厚木市飯山518(千頭橋際)  
TEL 046-241-1648  
FAX 046-241-7175

SAGAMI GAS  
相模ガス株式会社  
代表取締役 杉岡芳樹(高21回)  
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺3-1-2  
TEL (042) 753-1231  
FAX (042) 759-0775  
ysugioka@sagamigas.com

アイフォーコム IFCORCOM  
地域未来牽引企業  
代表取締役 加川広志(高25卒 津久井戸陵会)  
(フェンシング部)  
経済産業省選定

玉川・森の里戸陵会

歴史ロマンと新たな息吹  
憩いの場として

広報委員 梶山 光男(高22回)

曾根前会長、長らく戸陵会をお

導きありがとうございました。氏

は、当支部研修会にも毎年のお

にご参加され、示唆に富んだお話

で支部を暖かく見守られました。

また、その後の懇親会でも親しく

当支部の同回生を交え、当会のこ

とについて語っておられました。

ご指導、ありがとうございます。

また、新会長にご就任された熊坂

会長おめでとうございます。前会

長同様に戸陵会発展に向けご自愛

のうえ、活躍されますよう祈念し

ております。

さて、令和2年は、コロナ禍の中、

当支部においても役員会すら開催

することができず、支部活動報告

さえありません。そこで、今回は、

当支部の地域の様子を紹介し、報

告に変えさせていただきます。

当支部は、玉川地区と森の里地

区を合わせ会員数は正確には把握

されておりませんが、会員相互の

声かけで発足し、構成、運営して

おります。

玉川地区には、古くは石器時

代の遺跡や延喜式にも記された

鎮守としての小野神社、上杉氏

に関わる七沢城(15世紀)、1、

000万年前の海底に堆積して

いたと言われている、いわゆる

七沢石の採掘(江戸から昭和)

など歴史とロマンある地域です。

また、現在では、最新医療機関

や同窓生の経営する湯宿も属す

る東丹沢七沢温泉郷として名を

はせています。

この玉川地区と県立七沢森林

公園を境に昭和の終わりに開発

された森の里地区は、住居と企

業、学校、学術研究機関などが

融合し、東京のベッタウンと

期待され開発された新興地域で

す。30年を経た現在、大学・大

手自動車会社や通信機関などの

研究機関があり、さらに近年で

は、森の里東地区の開発が進ん

でおり多くの企業の進出が望ま

れています。

また、若宮公園やつつじの丘公

園を中心に新たな息吹、自然豊か

で四季折々インスタ映えするこ

ろも多く、地元の玉川地区ととも

に県民の憩いの場としても期待さ

れる地域です。

歴史探訪、ハイキング、森林セ

ラビー等に当地区をご利用くださ

い。

さて、地区紹介の他、悲しいお

知らせもさせていただきます。黄

金井一太氏(中38回)の訃報です。

氏は、黄金井酒造の経営にあたり、

市内はもとより国内外商工界に大

きな貢献をされていきましたこと

は、皆の知るところです。また、当支

部の初代会長としても支部の発

足、戸陵会発展に貢献されました。

ありがとうございます。会員の

皆様と共にご冥福を祈りたいと思

います。

「依知戸陵会」ということだっ

たので当会がいただくことにしま

した。

ありがとうございます。大事に

使わせていただきます。感謝、合

掌。

役員有志で伊勢原戸陵会の企画

に便乗して、大山に登ってきました

た。大山記念登山については伊勢

原戸陵会から報告があるものと思

いますので、依知戸陵会のことだ

けを書きます。

令和2年10月25日(日) 天気は

快晴、やと秋の天候も安定して

登山日和でした。参加者は依知戸

陵会全部で6人、山頂までが4人、

他の2人は下社まで。

もちろん体力のない私は下社ま

で、しかしケープルカーで登るつ

りです。

OB会 / 同期会便り

小島富司君(高18回)の  
「農民文学」表紙絵  
原画展を鑑賞して

玉川・森の里戸陵会会長 三橋 敬司(高18回)

小島富司君から「農民文学」表紙絵原画展の案内状が届きました。彼の多才ぶりは存じ上げていた。彼が多才ぶりは存じ上げていた。彼が多才ぶりは存じ上げていた。彼が多才ぶりは存じ上げていた。

会場は、厚木市飯山にある「R YOKANアツギ・ミュージアム」ロビーで表紙絵の原画30枚ほど、そして季刊「農民文学」の冊子が表紙絵と共にたくさん展示されています。

「農」に生きる人々の姿や日々の生活と暮らしをテーマに表現して参りました。・・・と書かれていました。

表紙絵は額に納められ、クレパス画で大地に生きる農民の姿や農作業の様子などが生き生きと描かれていて人々の心を引きつける素晴らしい作品ばかりでした。特に、農民の表情には厳しさと同時に土を愛する気持ちが表現され思わず作品の前にじっと立ち、眺めている自分がそこにありました。

会期は、令和3年4月17日から5月23日の37日間で同窓会会報がお手元に届く時には終

伊勢原支部の大山記念登山に参加して

役員有志で伊勢原戸陵会の企画に便乗して、大山に登ってきました。大山記念登山については伊勢原戸陵会から報告があるものと思

いますので、依知戸陵会のことだけを書きます。令和2年10月25日(日) 天気は快晴、やと秋の天候も安定して登山日和でした。参加者は依知戸

陵会全部で6人、山頂までが4人、他の2人は下社まで。もちろん体力のない私は下社まで、しかしケープルカーで登るつもりです。

ありがとうございます。大事に使わせていただきます。感謝、合掌。



「アツギ・ミュージアム」での原画展。写真右が小島富司氏

依知戸陵会

寄付をいただきました

会長 大塚 定男(高20回)

萩原正雄さん(中42回)は令和元年11月に90歳で逝去されました。

厚木中学卒業後、家業萩原酒店を継いだ(8代目)ので大学には行かなかった。中学時代はちよ

ど戦争の終わり頃、学校に行っても軍事教練が主だったとのこと。

相模縦貫道の取り付け道路工事のため、昨年店を閉めて近所に

移った。

近頃では体調を崩していたため

引越しと病院通いで大変だったそ

うだ。しかし、亡くなる前に新居

に住むことが出来てよかったと娘

さんは仰っていた。

世話好きで業界や自治会の役員

などを務めたが、戸陵会の役員にはな

らなかつたことがない。にもかかわ

らず日頃から「同窓会には何かして

あげないといけない」と話されていた

そうだった。

それで、最近、同窓会会報が送

られてきたのをきっかけに娘さん

が寄付を思い立ったとのことだ

つた。

同窓会本部役員・理事・支部役員 (令和3年8月1日現在)

【同窓会本部役員】

Table listing members of the Alumni Association Executive Committee, including President, Vice President, and various departments.

【同窓会本部事務局】

Table listing staff members of the Alumni Association Secretariat, including the Director and various sections.

【理事】(本年9月改選)

Table listing the members of the Council of Directors, numbered 1 through 33.

【各地区同窓会支部】

Table listing members of regional alumni associations across various districts, including Isewara, Aino, and others.



http://www.atsukou-dousou.org

同窓会本部では、公式ホームページを開設しています。主な内容は次の通りです。

同窓会ホームページのご案内

- 「同窓会概要」
「同窓会本部役員紹介/会則/母校教育振興基金規定/活動活性化補助金交付要綱/会費についてなど」
「学校の歴史・校歌」
「治学の大事」県立第三中学校創立略史/同窓会の歴史など」
「お知らせ」
「同期会・OB会情報/バックナンバー」
「総会報告」
「総会資料/写真集など」
「支部会のご案内」
「各支部の活動報告など」
「同窓会会報」
「会報バックナンバー/各支部会報/部活OB会報など」
「動画や写真など、多彩な内容でお伝えしています。」

事務局便り

校内事務局スタッフ8名で
今年度は次の8名の人員で同窓会の校内役員としてご協力いただきました。
●事務局次長/谷田和久(高29回)
●事務局総務/菅井久男(高31回)
●会計=本部/壺井尚子(高37回)
●会計=部活動支援基金/池田優太郎(高59回)
●同窓会名簿/谷田和久
●壺井尚子
●霜島士郎(高28回)
●菅井久男
●池田優太郎

編集後記

●新型コロナウイルスの感染者拡大で最も大きな影響を受けた2020年東京オリンピック。1年延期でコロナが終息に向かっている。
●「リレ」は中止でも、生涯走り続ける」と力強く語る。
●「2年ぶりに開催された夏の高校野球。神奈川大会開幕の選手宣誓に当選した厚高野球部主将の杉山君「明るい未来の懸け橋に」と力強く言い切った。(K-I)

2020-23年 広報委員会委員 (令和3年4月1日現在)

Table listing members of the Publicity Committee from 2020-2023, including names, graduation years, and contact information.